

# 秩父市の公共施設マネジメントの

## 取り組みを知ろう！



### 公共施設の大きさ

全国の地方公共団体において公共施設の老朽化対策が大きな課題となっています。対策を講じなければ、重大な事故などの発生する危険性が高まります。

市では、多くの公共施設を保有しており、平成30年3月31日時点で、1,300棟を超える、延べ床面積の合計は37万m<sup>2</sup>を超えています。

### 公共施設の管理費

この内、普通会計（一般会計）で管理している公民館・体育館・小中学校など全ての公共施設（ハコモノ）を維持する場合、40年間で約1,400億円を要すると試算されています。

これは、過去5年間の平均投資額を大きく上回り、全ての公共施設を維持し続けることは困難です。また、運営などのためにかかる経費も多額の費用を要しています。

### 運営費調査結果（令和元年度分）

光熱水費	約2.7億円
委託料	指定管理料 約1.26億円 上記以外 約3.86億円
使用料及び賃借料	土地 約1.75億円 上記以外 約0.41億円

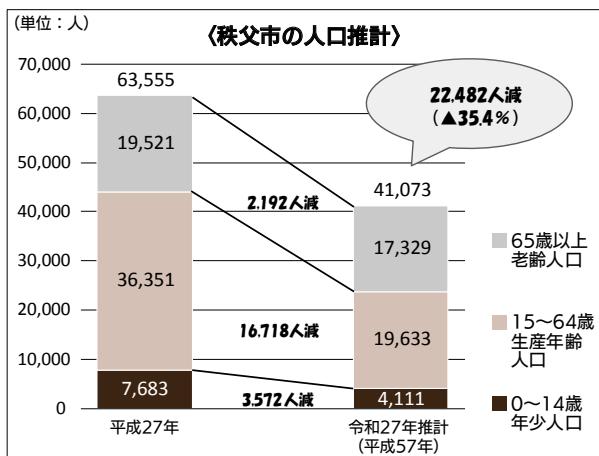
※普通会計（一般会計）で管理している、延べ床面積200m<sup>2</sup>以上の施設を対象としています。

### 投資実績と更新費用の比較

	過去5年 平均投資額 H25～H29	今後の推計 (更新等費用)		倍率 B/A
		単年平均 A	40年累計	
公共施設(普通会計)	22.0億円	1,403.0億円	35.1億円	1.6倍

※今後の推計は、現存する公共施設を全て保有すること前提に更新、改修などのかかる費用を試算したものです。

※平成30年3月31日時点で、現存した公共施設で試算しています。



### これからの公共施設

一方で、人口減少、少子・高齢化が、収入減少の一因となることや施設の利用状況の変化も見込まれます。人口減少は、昭和50年ごろから始まりましたが、65歳以上の高齢者人口は増加していました。しかし、令和2年から6年ごろをピークに高齢者人口も減少に転じると推計されています。

市では、これらの公共施設を適切に管理していくための基本方針である「公共施設等総合管理計画」を策定しています。

公共施設の課題の解決を目指し、着実に推進するにあたり、公共施設の基本情報、利用状況、運営・維持にかかる経費などを「施設カルテ」としてまとめました。具体的な検討の基礎資料とするとともに市民の皆さんとの情報共有のため、公表しています。市HPをご参照ください。



### 秩父市個別施設計画

**計画の内容** 「秩父市公共施設等総合管理計画」の推進を図り、課題解決に向け、公共施設（ハコモノ）の個別施設計画を策定します。

**公表時期および意見募集期間** 11月22日(月)～12月21日(火)

**公表方法** ・市HPへの掲載 ・FM推進課での閲覧

・吉田・大滝・荒川総合支所市民福祉課での閲覧

**意見の提出方法** ・FM推進課へ文書で提出

・吉田・大滝・荒川総合支所市民福祉課窓口へ文書で提出

・FM推進課へ郵便（〒368-8686熊木町8-15）またはFAX・Eメールで提出

・何でも投書箱へ投函

問 FM推進課 ☎ 26-1131 FAX 22-2534 □ fm@city.chichibu.lg.jp

皆さんの  
ご意見を  
お寄せください！

～秩父市  
パブリックコメント手続き～

市報の内容は、新型コロナウイルス感染症の影響により、変更となる場合があります。